



平成29年2月15日

各 位

会社名 武蔵精密工業株式会社  
代表者名 代表取締役社長 大塚浩史  
(コード番号 7220 東証・名証第一部)  
問合せ先 取締役上席執行役員 神谷 功  
経 理 統 括  
(TEL. 0532-25-8111)

(訂正)「業績予想の修正及び営業外費用(為替差損)の計上に関するお知らせ」  
の一部訂正について

平成29年2月14日 15時20分に公表しました「業績予想の修正及び営業外費用(為替差損)の計上に関するお知らせ」の記載内容の一部に誤りがございましたので、下記の通り訂正いたします。

記

【訂正箇所】

訂正箇所に付きましては、下線を付して表示しております。

3. 営業外費用(為替差損)の計上について

(1) 営業外費用の内容

【訂正前】

為替相場の変動により、平成29年3月期第3四半期連結会計期間(平成28年10月1～平成28年12月31日)において、為替差益1,847百万円、平成29年3月期第3四半期会計期間(平成28年10月1日～平成28年12月31日)において、為替差益1,660百万円が発生し、平成29年3月第3四半期累計期間(平成28年4月1日～平成28年12月31日)において、為替差損650百万円、平成29年3月期第3四半期累計期間(平成28年4月1日～平成28年12月31日)において、20百万円の為替差損を計上しました。

これは主に、同期間中に生じた為替変動により、売上、仕入の計上時と決済時の為替レートの差が生じたことに加え、期末時点での当社グループが保有する外貨建資産・負債につき、同日の為替相場で評価したことにより、生じたものです。

【訂正後】

為替相場の変動により、平成29年3月期第3四半期連結会計期間(平成28年10月1～平成28年12月31日)において、為替差益1,847百万円、平成29年3月期第3四半期会計期間(平成28年10月1日～平成28年12月31日)において、為替差益1,660百万円が発生し、平成29年3月期第3四半期連結累計期間(平成28年4月1日～平成28年12月31日)において、為替差損650百万円、平成29年3月期第3四半期累計期間(平成28年4月1日～平成28年12月31日)において、20百万円の為替差損を計上しました。

これは主に、同期間中に生じた為替変動により、売上、仕入の計上時と決済時の為替レートの差が生じたことに加え、期末時点での当社グループが保有する外貨建資産・負債につき、同日の為替相場で評価したことにより、生じたものです。

以上